

見沼たんぼ（さいたま市緑区南部領辻）の動物相 ～水生コウチュウ目・カメムシ目～

古旗峻一（埼玉県立自然の博物館外部研究者・アジア航測(株)）・高野季樹・内田大貴（埼玉県立自然の博物館外部研究者・大日本ダイヤモンド(株)）・後藤颯太（㈱建設技術研究所）・今野紗貴（特定非営利活動法人 NPO birth）・村橋卓也（東日本旅客鉄道(株)）・長池智久・勢井慎太郎・志賀弘貴・武田佳篤・平林巧己（㈱環境指標生物）・山田一輝（相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら）・中島 望（NPO 法人見沼保全じゃぶじゃぶラボ）・サカール祥子（合同会社十色）

はじめに

見沼たんぼは、埼玉県さいたま市から川口市にまたがる面積約1,260 haの畑や水田を中心とした耕作地帯である。水田や畑、雑木林、河川や見沼代用水によってつくられる田園風景と、生きものを育む豊かな自然が現在も残されている（さいたま市, online）。

見沼たんぼでは、これまで自然環境の現況把握を目的に、植物相、鳥類、両生類・爬虫類、魚類、昆虫類、甲殻類・貝類の調査が実施されている（さいたま市みどり推進課, 2010）。しかし、上記の調査は見沼たんぼ全域を対象とした広域的な調査であり、見沼たんぼのエリア内の特定の箇所におけるモニタリングや、詳細な生物相把握を目的とする調査報告はない。

今回著者らは、見沼たんぼのうち、「合同会社十色」と「NPO 法人見沼保全じゃぶじゃぶラボ」が環境保全や教育を目的に管理を実施している水田および水路において、生息する動植物相の詳細な把握を目的とした調査の機会を得た。

本報告では、これまでに実施した調査項目のうち、水生のコウチュウ目 Coleoptera・カメムシ目 Hemiptera（以下、水生昆虫類）を対象とした調査結果をここに報告する。

方 法

1) 調査地

調査地は、さいたま市緑区に位置する水田7枚および利根川水系見沼代用水東縁から取水し水田へ接続する水路の2地点である。水田へは利根川水系見沼代用水東縁から水路を通じて取水し、排水は水路を通じて荒川水系加田屋川へ排水している（図1）。また、調査した各水田は3種類の異なる管理を実施しており、詳細な管理方法は表1に示す。なお、年間を通じて水は張っておらず、5月に通水、9月には落水する水管理を行っている。

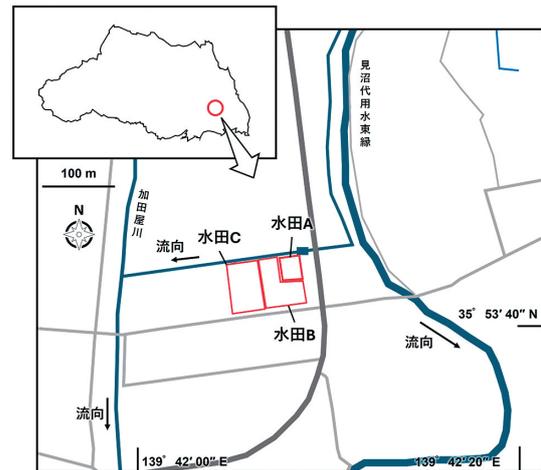


図1. 調査地の概要

表1. 水田の管理方法

水田	管理者	農薬の有無	草刈り	機械耕運	代掻き	入水	落水
A	NPO 法人見沼保全じゃぶじゃぶラボ	無	年3回	不耕起	無	5月	9月
B	NPO 法人見沼保全じゃぶじゃぶラボ	無	2週に1回	年2回	田植前：1回 田植後：3回	5月	9月
C	合同会社十色	無	2週に1回 田植後：1回	年2回	田植前：1回 田植後：3回	5月	9月

2) 調査方法

採集は2024年6月16日、2025年6月22日および8月23日に手網を用いた掬い取りにより行った。採集個体はその場で濃度70%エタノール水溶液にて固定後に持ち帰り、種同定後に乾燥標本を作製した。種の同定は林(2008)、林・宮本(2018)、中島ほか(2020)に従い行った。なお、標本はすべて埼玉県立自然の博物館(SMNH)に収蔵している。

結 果

調査の結果、25種の水生昆虫類が確認された。これらはすべて、これまでにさいたま市内では確認記録がある種であった(さいたま市, 2021)。下記に確認種の標本データをそれぞれ示した。なお、採集地点はすべて埼玉県さいたま市緑区南部領辻のため、表記を省略した。「環境省レッドリスト2020」(環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, online) (以下、環境省RL2020) 掲載種や特筆すべき事項がある種については、備考に記した。

コウチュウ目 Coleoptera

コツブゲンゴロウ科 Noteridae

コツブゲンゴロウ *Noterus japonicus* (図2-A)

標本：2個体、水田、2024年6月16日、高野季樹採集；1個体、水田、2025年8月23日、古旗峻一採集

備考：埼玉県内では、2000年代以降の確認記録が一時途絶えていたものの、近年記録が増加傾向にある(例えば、内田・岩田, 2022；古旗ほか, 2023；高野・内田, 2024；内田ほか, 2025a)。

ゲンゴロウ科 Dytiscidae

ホソセスジゲンゴロウ *Copelatus weymarni* (図2-B)

標本：1個体、水田、2025年6月22日、古旗峻一採集

チビゲンゴロウ *Hydroglyphus japonicus*

標本：2個体、水田、2024年6月16日、高野季樹採集；2個体、水田、2025年6月22日、古旗峻一採集

ヒメゲンゴロウ *Rhantus suturalis* (図2-C)

標本：3個体、水田、2024年6月16日、高野季樹採集；1個体、水田、2025年6月22日、古旗峻一採集

ハイイロゲンゴロウ *Eretes griseus* (図2-D)

標本：3個体、水田、2024年6月16日、高野季樹採集；1♂、水田、2025年8月23日、古旗峻一採集

コシマゲンゴロウ *Hydaticus grammicus* (図2-E)

標本：1♂、水田、2025年6月22日、古旗峻一採集

ガムシ科 Hydrophilidae

コガムシ *Hydrochara affinis* (図2-F)

標本：1個体、水田、2025年6月22日、古旗峻一採集

備考：環境省RL2020選定ランク、情報不足【DD】

ヒメガムシ *Sternolophus rufipes* (図2-G)

標本：3個体、水田、2024年6月16日、高野季樹採集；1個体、水田、2025年8月23日、古旗峻一採集

キイロヒラタガムシ *Enochrus simulans* (図2-H)

標本：2♂、水田、2025年6月22日、古旗峻一採集

セマルガムシ *Coelostoma stultum*

標本：1♀、水田、2025年6月22日、古旗峻一採集

ヒメセマルガムシ *C. orbiculare* (図2-I)

標本：3♂4♀、水田、2025年6月22日、古旗峻一採集；1♂、水田、2025年8月23日、古旗峻一採集

備考：県内では広く記録されているが、2000年代以降の記録は少ない(例えば、古旗ほか, 2023；岩田・児島, 2023；内田ほか, 2025a；内田ほか, 2025b)。

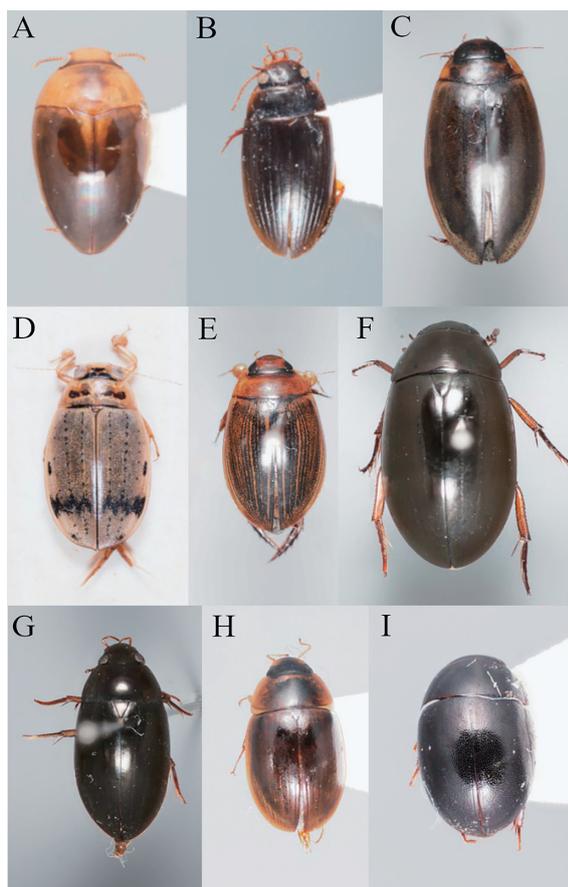


図2. 採集された水生昆虫類(コウチュウ目)の一部(A, コツブゲンゴロウ; B, ホソセスジゲンゴロウ; C, ヒメゲンゴロウ; D, ハイイロゲンゴロウ; E, コシマゲンゴロウ; F, コガムシ; G, ヒメガムシ; H, キイロヒラタガムシ; I, ヒメセマルガムシ)

カメムシ目 Hemiptera

ミズムシ科 Corixidae

エサキコミズムシ *Sigara septemlineata* (図3-A)

標本: 3♂, 水田, 2024年6月16日, 高野季樹採集; 1♂, 水田, 2025年6月22日, 古旗峻一採集

ハラグロコミズムシ *S. nigroventralis*

標本: 1♂, 水田, 2024年6月16日, 高野季樹採集; 1♂, 水田, 2025年6月22日, 古旗峻一採集

コミズムシ属の一種 *Sigara* sp.

標本: 1♀, 水田, 2024年6月16日, 高野季樹採集

備考: 採集個体は雌のため, 属までの同定

にとどめた。

チビミズムシ科 Micronectidae

ハイイロチビミズムシ *Micronecta sahlbergii* (図3-B)

標本: 1♂1♀, 水田, 2025年6月22日, 古旗峻一採集

備考: 埼玉県内の記録は少ない(2021; 内田ほか, 2024)。

コチビミズムシ *M. guttata* (図3-C)

標本: 2♂, 水路, 2024年6月16日, 高野季樹採集

マツモムシ科 Notonectidae

コマツモムシ *Anisops ogasawarensis*

標本: 1個体, 水田, 2025年6月22日, 古旗峻一採集

ミズカメムシ科 Mesoveliidae

ヘリグロミズカメムシ *Mesovelia thermalis*

標本: 4♂4♀, 水田, 2024年6月16日, 高野季樹採集

ミズギワカメムシ科 Saldidae

Saldula の一種 *Saldula* sp. (図3-D)

標本: 1♀, 水田, 2025年6月22日, 古旗峻一採集

備考: 採集個体は雌のため, 属までの同定にとどめた。

ケシミズカメムシ科 Hebridae

ケシミズカメムシ *Hebrus nipponicus* (図3-E)

標本: 7個体, 水田, 2025年6月22日, 古旗峻一採集

イトアメンボ科 Hydrometridae

ヒメイトアメンボ *Hydrometra procera* (図3-F)

標本: 1♀, 水田, 2025年6月22日, 古旗峻一採集

カタビロアメンボ科 Veliidae

ケシカタビロアメンボ *Microvelia douglasi* (図3-G)

標本：1♂、水田、2024年6月16日、高野季樹採集

ホルバートケシカタビロアメンボ
M. horvathi (図3-H)

標本：2♂3♀、水田、2025年6月22日、古旗峻一採集

アメンボ科 Gerridae

アメンボ *Aquarius paludum paludum*

標本：1♂1♀、水路、2024年6月16日、高野季樹採集

ヒメアメンボ *Gerris latiabdominis* (図3-I)

標本：2個体、水田、2024年6月16日、高野季樹採集；1♀、水田、2025年6月22日、古旗峻一採集

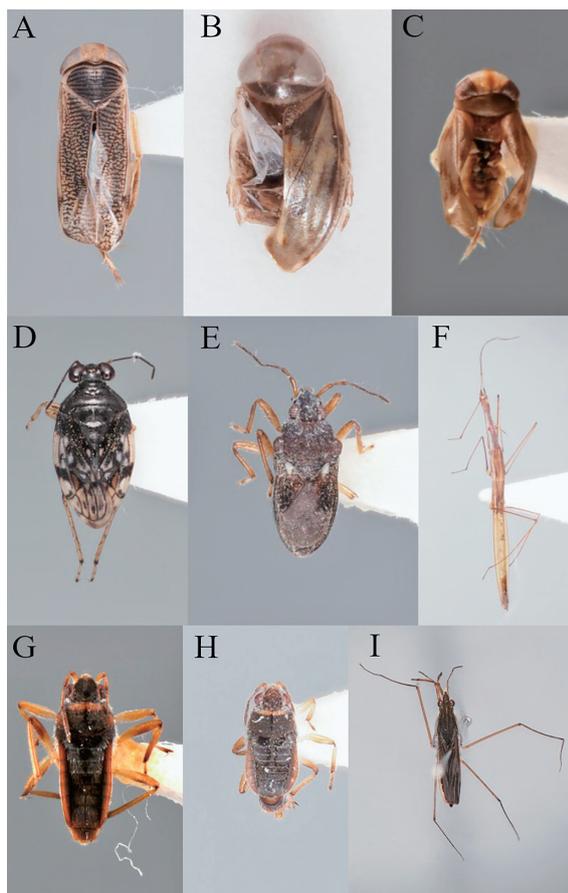


図3. 採集された水生昆虫類（カメムシ目）の一部（A, エサキコミズムシ；B, ハイイロチビミズムシ；C, コチビミズムシ；D, ミズギワカメムシ属の一種（雌）；E, ケシミズカメムシ；F, ヒメイトアメンボ；G, ケシカタビロアメンボ；H, ホルバートケシカタビロアメンボ；I, ヒメアメンボ）

考 察

過去の調査においてマダラコガシラミズムシ *Haliphus sharpi* やコマルケシゲンゴロウ *Hydrovatus acuminatus*、コオイムシ *Appasus japonicus* などの絶滅危惧種がさいたま市内では確認されており（奥田・岩田, 2021；佐藤・内田, 2025；高野ほか, 2025）、これらの種が生息できるような環境が市内には潜在していると考えられる。今回の調査では、調査地の水田において、定期的な草刈りや機械耕運などにより無農薬での有機農法を実施している（表1）。そのため、農作業によりある程度かく乱される環境にあり、水際にはこうした環境を好むイボクサ *Murdannia keisak* やキクモ *Limnophila sessiliflora* 等の多様な水生植物が確認された（志賀弘貴, 未発表データ）。このような植物の富む環境を好んで生息するコツブゲンゴロウやセマルガムシ、ヘリグロミズカメムシ（中島ほか, 2020）をはじめ、環境省レッドリスト掲載種であるコガムシといった多数の水生昆虫類が確認されたことは、水田環境として良好な環境が形成・維持されていることを示唆していると考えられる。一方で、今回の調査では、特定外来生物のカダヤシ *Gambusia affinis* やアメリカザリガニ *Procambarus clarkii*、外来アゾラ類 *Azolla* sp. などの外来種の生息が多く確認されており（古旗峻一, 未発表データ）、水生昆虫類を含む在来種へ悪影響を及ぼしている可能性が考えられる。前述のとおり水田環境は良好であり、生物の生息環境として機能していることが本調査により示唆されたことを踏まえると、今後は外来種の駆除および侵入の防止などの対策を実施し、より良好な環境としていくことが望ましい。

謝 辞

本稿を執筆するにあたり、合同会社十色とNPO法人見沼保全じゃぶじゃぶラボの皆様には調査を快諾いただき、調査を実施できた。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

引用文献

古旗峻一, 内田大貴, 村橋卓也, 岩田泰幸 (2023) 日高市及び飯能市で採集された水生コウチュウ目・カメムシ目。寄せ蛾記

- 189 : 24-31.
- 林 成多 (2008) 日本産セマルガムシ属の同定と分布. ホシザキグリーン財団 研究報告 11 : 93-102.
- 林 正美, 宮本正一 (2018) 半翅目 Hemiptera. 川合禎次・谷田一三編, 日本産水生昆虫科・属・種への検索第二版. pp. 329-427. 東海大学出版会.
- 岩田泰幸, 児嶋 翼 (2023) 2019年~2021年に埼玉県所沢市三ヶ島の湿地で得られた水生甲虫. トトロのふるさと基金自然環境調査報告 17 : 36-45.
- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (online) 環境省レッドリスト2020. <https://www.env.go.jp/press/files/jp/114457.pdf>. (2025年10月12日閲覧).
- 中島 淳, 林 成多, 石田和男, 北野 忠, 吉富博之 (2020) ネイチャーガイド日本の水生昆虫. 文一総合出版.
- 奥田恭介, 岩田泰幸 (2021) さいたま市におけるコオイムシの採集記録. 寄せ蛾記 182 : 35-36.
- 佐藤日向, 内田大貴 (2025) 埼玉県さいたま市で得られたコマルケシゲンゴロウの記録. 寄せ蛾記 194 : 58-59.
- さいたま市 (online) 見沼たんぼのホームページ. <https://www.minumatanbo-saitama.jp/> (2025年10月12日閲覧)
- さいたま市 (2021) さいたま市史自然編~昆虫類~.
- さいたま市みどり推進課 (2010) さいたま市見沼田圃自然環境調査業務報告書. <https://www.city.saitama.lg.jp/001/010/019/010/005/p010998.html> (2025年9月21日閲覧)
- 高野季樹, 内田大貴 (2024) 2023年に幸手市で採集した水生コウチュウ目・カメムシ目. 寄せ蛾記 191 : 64-67.
- 高野季樹, 内山龍人, 古旗峻一, 内田大貴, 阿部眞大, 岩田泰幸 (2025) 埼玉県におけるマダラコガシラミズムシの新規産地および既知記録の整理. 埼玉県立自然の博物館研究報告 19 : 67-70.
- 内田大貴, 岩田泰幸 (2022) 嵐山町の水田で確認した絶滅危惧種を含む真水生コウチュウ目の生息状況と既知記録の整理. 埼玉県立自然の博物館 研究報告 16 : 77-84.
- 内田大貴, 岩田泰幸, 荒井康充 (2025a) 羽生水郷公園で確認された湿地性昆虫類 (コウチュウ目・カメムシ目). 埼玉県立川の博物館 紀要 25 : 33-40.
- 内田大貴, 岩田泰幸, 岩田朋文 (2024) 埼玉県におけるチビミズムシ亜科 (ミズムシ科) の追加記録と既知記録の整理. 寄せ蛾記 191 : 13-16.
- 内田大貴, 高野季樹, 阿部眞大 (2025b) 越谷市におけるヒメセマルガムシの記録. 寄せ蛾記 194 : 125.